



NO. 3

台風 19 号から 1 か月が過ぎました

まだ避難生活を余儀なくされている人がいます。尾山台保育園の保護者家庭も家の改修が終わるまで実家に避難している人がいます。日常生活が変わるということは本当に心身にこたえる事ですが、子どもが元気に笑っていてくれると前向きに考えられる時もあります。

尾山台保育園の復旧改修工事は、11月25日から本格的に開始されました

床から壁面（腰壁まで）の解体、配管等も含めた洗浄消毒を行ってから床暖等含めた張替えに入ります。調理室も並行して工事を行います。

工期は1期工事（※）終了が2月末から3月初め。2期工事終了までは6月頃と見ています。1期工事が終われば、1階が子どもたちの生活の場として戻ってきます。公立保育園に生活の場を引越している年長のぞう組さんも戻って来られます。

調理室は一足早く完成予定で、2月頭には給食の再開となる予定です。

（※1階一番奥の保育室のみ2期工事。それ以外のすべてを1期工事で行います。）

今は保育を新たに構築していく段階に入っています

仮の生活が始まってしばらく経ち、今まで落ち着いて過ごしていた子も、けんかっ早くなる姿などが出てきています。そんな中、保護者の力で園庭の砂入れ替えと消毒が済み庭遊びが復活しました。0歳から4歳児までがそれぞれの部屋に遊びに行き各クラスが交流し合うなど、限られた環境の中で子どもにとっての最善を考え保育士たちが頑張っています。これから“仮”の生活が、それぞれの子が見通しをもって主体的に過ごしていけるものになれば、どの子もまた落ちついた生活を取り戻せると思います。先日、保護者向けに「復旧工事説明・懇談会」を行いました。その中で、感染症の事や災害時の避難の事、卒園式や新年度移行の事などについて保護者と思いの交流ができました。保護者の方も積極的に我が子を通して保育を考えてくれていることが分かりました。

ただ、夕食調理ができないので延長保育は時間を短縮して行っています。その中で仕事が回らなくなって厳しい状況の方がいます。環境などの心配から実家にお子さんを預けて登園を控えている方もいます。これまで、保護者の方には理解してもらい協力をしてもらっていましたが、これからは要望も出してもらい共に考え、園としてできる事をしていく段階になっています。

多くの支援をいただいています

遊具や絵本、マットなどの大型遊具等も被害を受け処分したものがたくさんあります。園舎復旧以外にも、多くの費用が必要になります。給食のケータリングサービスもかなりの経費がかかっています。この間、募金や絵本などの遊具、作業の手伝い、近隣園では給食の提供などたくさんの支援をいただいています。本当にありがとうございます。

最近になり、国の支援制度があることが分かりました。「社会福祉施設等災害復旧費国庫補助金」というもので、現在交付の決定を待っています。次号でよい報告ができるとういのですが、引き続き支援募金への協力を呼び掛けています。